

「学校安心ルール」(長原小)

<基本的な考え方>

- 学校安心ルールは、あらかじめルールを明示することにより、子どもたちがしてはいけないことを自覚したうえで、自らを律することができるよう促すことを目的として作成したものです。
- 子どもたちには日頃より、基本的な約束に示されたことがらを心がけることを伝え、ひとりひとりがルールを守ることの大切さや相手のことを考えることができる、「より良い社会(学校)」をめざしています。
- 第1～3段階の基本となるものは、『体罰・暴力行為を許さない開かれた学校づくりのために』の「児童生徒の問題行動への対応に関する指針」によるものです。

対応 段階	学習の時に	他の子に対して	先生に対して	その他のルールとして	学校等が行うことができる対応
基本的な約束ごと	<ul style="list-style-type: none"> ・嘘(うそ)をつかない ・ルールを守(まも)る ・人(ひと)に親切(しんせつ)にする ・勉強(べんきょう)する 				
第1段階	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間<small>じゅぎょうじかん</small>におくれる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・からかう、ひやかす ・無視<small>むし</small>する ・人の物をかってにさわる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導<small>しどう</small>を素直<small>すなお</small>に聞かない ・指導を無視<small>むし</small>する ・からかう、ひやかす <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物を大切にしない ・自分の机<small>じぶんつくえ</small>等に落書き<small>らくがき</small>する ・学校<small>がっこう</small>の物をかってに使う ・使った物の後片づけ<small>あとかたづか</small>をしない <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その場で注意<small>ちゅうい</small> ・場合によっては家庭連絡<small>かていれんらく</small> ・個別指導<small>こべつしどう</small> ・自己を振り返る活動<small>じこふかえかつどう</small> <p>など</p>
第2段階	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のじゃまをする ・授業に関係<small>かんけい</small>のない話<small>はなし</small>をする ・授業をさぼる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間はずれにする ・悪口、かげ口<small>ぐち</small>を言う ・こわがるようなことをしたり言ったりする ・人の物をかくす <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導に対して反抗<small>はんこう</small>する ・挑発<small>ちょうはつ</small>的な態度をとる ・バカにしたようなことを言う <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校<small>がっこう</small>の物に落書き<small>らくがき</small>する ・学校<small>がっこう</small>の物をこわす ・夜中<small>よなか</small>に出歩き徘徊<small>はいかい</small>する ・カードやゲーム等で賭けごとをする <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その場で注意<small>ちゅうい</small> ・家庭連絡<small>かていれんらく</small> ・複数の教職員<small>ふくすうきょうしよくいん</small>による個別指導<small>こべつしどう</small> ・自己を振り返る活動<small>じこふかえかつどう</small> <p>など</p>
第3段階	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、故意<small>こい</small>に妨害<small>ぼうがい</small>をする ・テストのじゃまやカンニング<small>かんぎんぎんぐ</small>を繰り返す ・学校をさぼる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いやがることを無理やりさせる ・暴力をふるう(プロレス技<small>わざ</small>をかけるなども) ・人の物を故意<small>こい</small>にこわしたり、すてたりする <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導に対して激しく反抗<small>はんこう</small>する ・こわがるようなことをしたり言ったりする ・押す、突き飛ばす、ぶつか<small>ぶつか</small>るなどの暴力をふるう <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・万引きなど法律<small>ほうりつ</small>に違反<small>いはん</small>すること <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭連絡<small>かていれんらく</small> ・一定期間の別室<small>べつしつ</small>における個別指導<small>こべつしどう</small>及び学習指導<small>がくしゅうしどう</small> ・複数の教職員<small>ふくすうきょうしよくいん</small>による個別指導<small>こべつしどう</small> ・関係諸機関<small>かんけいしよきかん</small>(警察・こども相談センター)等<small>そうだん</small>と連携し、学校内で指導を行う。 ・状況によっては個別指導教室<small>こべつしどうきょうしつ</small>を活用した指導<small>かつようしどう</small> <p>など</p>
第3段階よりも重いと思われる事象や違法行為(窃盗や傷害・恐喝行為など)については、学校は教育委員会事務局の担当指導主事と連携し、対応について協議する。					

<ルール表作成上の留意点>

- ※学校は児童生徒ひとりひとりの状況等も十分にふまえ、対応について判断します。
- ※「学校等が行うことができる対応」については、あくまでも例示であり、学校の判断で対応することがあります。
- ※「個別指導教室」とは、生活指導サポートセンター内に設置した教室であり、経験豊富な元校長先生等がいつでも丁寧な立ち直り支援を行う場所です。